

製品の特長

性能

- 7280SE-64: 1/10GbE ポート 48 個と 10/40GbE ポート 4 個
- 7280SE-68: 1/10GbE ポート 48 個と 100GbE ポート 2 個
- 7280SE-72: 1/10GbE ポート 48 個と MXP ポート 2 個
- 最大 1.44Tbps
- 最大 900Mpps (百万パケット/秒)
- ワイヤスピードによる L2 および L3 転送
- 4 マイクロ秒未満のレイテンシー (64 バイト)

データセンター向けに最適化された設計

- 9GB のウルトラ・ディープ・パケット・バッファ
- 通常消費電力は 10GbE ポートあたり 4W 未満
- 1+1 のホット・スワップ可能な冗長電源
- N+1 のホット・スワップ可能な冗長ファン
- 前面吸気/背面排気または背面吸気/前面排気の冷却機能
- NEBS 対応の設計
- ツールレス・レールで据え付けが容易

仮想化とプロビジョニング

- 次世代データセンター向けの VXLAN
- VM Tracer
- OpenFlow 1.0 および 1.3*
- LANZ によるマイクロバースト検出
- DANZ の高度なミラーリングとタップ・アグリゲーションによる可視性の向上
- ゼロ・タッチ・プロビジョニング (ZTP)
- 高度なイベント・モニタリング
- sFlow (RFC3176)
- IEEE 1588 PTP

クラウド・ネットワーキング対応

- 128,000~256,000 個の MAC アドレス
- 128,000~256,000 個の IPv4 および IPv6 ホスト・ルート
- 64,000 個の IPv4 ルート

対障害性を備えたコントロール・プレーン

- 高性能な x86 CPU
- 4GB の DRAM
- 4GB のフラッシュ・メモリ
- 仮想マシン内でユーザー・アプリケーションを実行可能

内蔵ソリッド・ステート・ストレージ

- 120GB のソリッド・ステート・ドライブ (SSD)
- ログおよびキャプチャ・データを保存
- Linux のツールが制約なく利用可能

Arista Extensible Operating System

- 単一バイナリ・イメージ
- きめの細かい完全なモジュール型のネットワーク OS
- ステートフル・フォールト・コンテインメント (SFC)
- ステートフル・フォールト・リペア (SFR)
- Linux シェルやツールへのフル・アクセス
- bash, python, C++ で拡張可能なプラットフォーム

概要

Arista 7280E シリーズは、Arista 7000 シリーズのデータセンター向けスイッチです。10/40/100GbE のボックス型構成のシステムで、特に高度なハイ・パフォーマンス環境に最適です。ワイヤスピードの L2/L3 フォワーディングを、ネットワーク仮想化、オープンなモニタリングとネットワーク解析、耐障害性、アーキテクチャの柔軟性に関する高度な機能と組み合わせています。7280E の機能は、現代のネットワーキングで求められる要件や、ロスレスのフォワーディング・ソリューションを必要とするマルチメディアのリッチ・コンテンツの配信で求められる要件を満たします。

7280E シリーズには 3 つのモデルがあります。各モデルは、1/10GbE の SFP+ ポート 48 個に加え、モデルごとに異なる 40GbE および 100GbE のアップリンクを備えています。7280SE-64 は、QSFP+ のアップリンク・ポートが 4 個あり、トランシーバーまたはケーブルの使用により、4 個の 40GbE ポート、または最大 16 個の 10GbE ポートとしての利用が可能です。7280SE-72 は、100GbE のアップリンクが 2 個あり、Arista MXP インターフェイスの組み込みの光トランシーバーにて対応しています。各 MXP ポートは、12 個の 10GbE、3 個の 40GbE、1 個の 100GbE として使用でき、経済性に優れたさまざまな接続が可能です。7280SE-68 は、100GbE の QSFP アップリンクが 2 個あります。100GbE と 40GbE の両方の光ファイバーに対応し、アクティブ・ケーブルとパッシブ・ケーブルで長距離・短距離さまざまな接続が可能です。

7280E シリーズは、全モデルがレイヤ 2 とレイヤ 3 の豊富な機能を備え、最大 1.44Tbps のワイヤスピードのパフォーマンスを誇ります。VoQ アーキテクチャと、9GB のウルトラ・ディープ・パケット・バッファによって、HOL (head of line) ブロッキングを排除します。持続的な輻輳やきわめて高負荷のアプリケーションがある環境でも、ロスレスフォワーディングが可能です。Arista EOS を基盤として、HPC、ビッグデータ、コンテンツ配信、クラウド、仮想化環境にふさわしい、高度な機能を実現します。



Arista 7280E シリーズ

Arista EOS

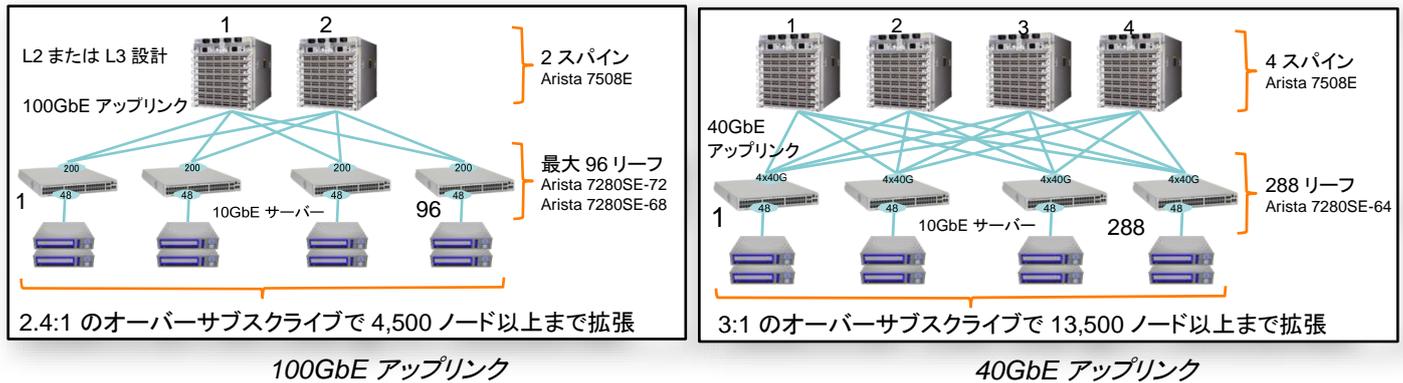
Arista 7280E では、Arista の全製品に共通の Arista EOS ソフトウェアが稼働しており、ネットワーク管理をよりシンプルにします。Arista EOS は、モジュール型のネットワーク OS で、スイッチの状態管理をプロトコル処理およびアプリケーション・ロジックから完全に分離する、独自の状態共有アーキテクチャを採用しています。標準の Linux カーネルを基盤として構築されており、すべての EOS プロセスは独自の保護メモリ空間内で実行され、インメモリ・データベースを介して状態を交換します。このマルチプロセス状態共有アーキテクチャは、インサービス・ソフトウェア・アップグレード (ISSU) および自己回復型の耐障害性のための基盤となります。

また、Arista EOS の搭載により、ゼロ・タッチ・プロビジョニング、VMTracer、Linux ベースの各種ツールといった高度なモニタリングや自動化の機能を、強力なクアッドコア x86 CPU サブシステムによってスイッチ上でネイティブに実行できます。

スケール・アウトするネットワーク設計に向けた最大限の柔軟性

スケール・アウトを考慮したネットワークを設計することで、まずは小規模なソリューションを構築し、時間とともにそれを拡張させていくことが可能になります。シンプルな 2way 設計を、アーキテクチャに大きな変更を加えることなく拡張できます。Arista 7280E では、柔軟なスケール・アウト設計を可能にする次のような機能強化が行われています。

- 128way の ECMP と 128way の MLAG により、スケーラブルな設計と、大規模 2 階層リーフ/スパインでのトラフィックの均等な分散を実現
- VOQ アーキテクチャとディープ・パケット・バッファリングによりヘッド・オブ・ライン・ブロッキングを排除
- L2 および L3 の転送テーブル・リソースの柔軟な割り当てにより、設計の選択肢を拡大
- 高密度の 10G/40G/100G ポートの多彩な選択肢があり、各ポートでマルチスピードの柔軟性を実現
- VXLAN と仮想化機能により、次世代データセンター設計が可能
- LANZ、DANZ、PTP、sFlow、マルチポート・ミラーリングにより、マイクロバーストを検出し、ネットワーク全体にわたる可視化と監視を提供
- 拡張性のある ACL で、フォワーディング・エンジンあたり最大 12,000 個のエントリ、モジュールあたり 36,000 個のエントリに対応



アリストアのリーフ/スパイン 2 階層ネットワーク・アーキテクチャ

Software Defined Networking

Arista Software Defined Cloud Networking (SDCN) は、クラウド・コンピューティングの普及の原動力でもある、自動化、セルフサービス・プロビジョニング、パフォーマンスとコストのリニアなスケールリングを実現しつつ、ネットワーク仮想化、カスタム化可能なプログラマビリティ、シンプルなアーキテクチャ、低い導入コストを実現するといった Software Defined Networking のトレンドを兼ね備えています。これにより、企業とサービス・プロバイダーの両方のデータセンターに対し、ネットワークの価値を最大限に高める業界最高水準のソフトウェア基盤を提供します。IT インフラ内の最もミッション・クリティカルな場所を対象とする新しいアーキテクチャは、制御と可視化の機能をネットワークおよびシステム管理者に提供しつつ、管理とプロビジョニングを簡素化し、サービス・デリバリーを迅速化、コストを削減して、サービスの競争力を高める機会を創出します。

高性能ネットワーク向けの高度な機能

Arista 7280E は、高度なトラフィック制御および監視機能を備え、データ監視、高精度タイミング、次世代仮想化に向けたソリューションによって、先進的なハイ・パフォーマンス環境の機動性を高めます。

高精度なデータ解析

Arista のレイテンシー・アナライザ (LANZ) と高精度データ・アナライザ (DANZ) は、EOS に実装された機能です。DANZ は、10/40/100Gbps における監視と可視化をどうするかという問題を解決します。製品のパフォーマンスに影響を与えることなく、輻輳状態に対するフィードバックを予防的に提供するとともに、トラフィックをフィルタ、複製、集約、キャプチャする機能を提供します。LANZ は、アプリケーションに影響が生じる前にマイクロバーストや輻輳状態に対する高精度リアルタイム監視を行います。発生源を特定し、影響を受けたトラフィックをキャプチャして解析することもできます。

高精度タイミング (IEEE 1588)

IEEE 1588 Precision Time Protocol は、高精度なタイミング・ソリューションの構築および維持を可能にします。高精度タイミングのためのネットワークをコストをかけて別途導入することなく、既存のネットワーク・インフラ内のアプリケーションに対し、1 マイクロ秒以下の精度までの極めて正確な高精度時刻同期を実現します。Arista の 7280E シリーズ・ハードウェアをベースとした Precision Time Protocol (PTP) ソリューションは、サーバー、ルーター、その他のスイッチに対する正確なインバンドでの時刻配信のための高性能で堅牢なメカニズムを提供します。

オーディオ・ビデオ・ブリッジング (AVB)

オーディオ・ビデオ・ブリッジング (AVB) は、プロフェッショナルなメディアをイーサネット・ネットワーク上で確実に伝送することのできる規格です。きわめてシンプルなケーブル配線、非常に柔軟な信号ルーティングと処理、幅広く普及しているイーサネットならではの経済性、これらパケットベースのインフラのメリットを生かすことができます。7280E は、EOS が準拠する IEEE AVB 仕様をサポートしており、正確な同期、トラフィック・シェーピング、受付制御、デバイス識別に対応しています。

仮想化

次世代の仮想データセンターでは、VXLAN などの新しいカプセル化技術やオーケストレーション・ツールとの密接な連携が必要です。7280E は、アリスタが VM Tracerとして既に提供している利用価値の高いツールをベースに、カプセル化環境へ直接統合することが可能になっています。VXLANと従来のL2/3ネットワークとの間にワイヤスピードのゲートウェイを提供することによって、7280E は、サーバー、ファイアウォール、負荷分散装置などの VXLAN 非対応のデバイスのシームレスな統合を可能とし、MPLS などの技術を用いずに、標準規格に基づく L2 拡張技術としての VXLAN を活用できるようにします。

Arista のイベント管理 (AEM)

AEMは、一般的な運用の簡素化を目的として、アラートやアクションをカスタマイズするためのツールです。AEMは、タスクを自動化し、EOSの動作とデータセンター・スイッチング・インフラ全体の運用をカスタマイズするための強力かつ柔軟性の高い機能群です。AEMによってオペレーターは、EOSに搭載されるインテリジェンスを最大限に活用して、リアルタイムにイベントに対応し、定型タスクを自動化し、刻々と変化するネットワーク条件に基づいてアクションを自動化することができます。

10/40/100G の柔軟な組み合わせ

7280E は、高密度の 10GbE インターフェイスと、選択の幅があるアップリンク・インターフェイスを備えているため、バッファリング、拡張性、可用性が非常に優れています。写真の上から下の順で、次のような構成です。

7280SE-72: MXP ポート 2 個で、2x100G、6x40G、12x10G に対応

7280SE-68: QSFP100 ポート 2 個で、2x100G、2x40G、8x10G に対応

7280SE-64: QSFP+ポート 4 個で、4x40G、16x10G に対応



Arista 7280E の柔軟なポート構成

組み込みの光トランシーバーと MPO インターフェイスによって、システム密度を高めるマルチスピード・ポート (MXP) 機能を実現し、10G/40G/100G インターフェイスの選択肢があります。MXP ポートは、各ポートあたり、12x10G、3x40G、1x100G の組み合わせをサポートしています。マルチモード・ファイバーで最長 400m まで対応しており、10GbE から 100GbE への高密度かつシームレスな移行が可能です。トランシーバーの置き換えやシステム・キャパシティの低下もありません。

QSFP100 ポートは、標準規格に基づく 100G と 40G の多彩な光ファイバーで使用できます。シングルモード・ファイバーとマルチモード・ファイバーの両方に対応し、長さは最大 40km です。各インターフェイスは、40G または 100G で別個に構成することも、ブレイクアウト・ケーブルまたは光ファイバーを使用して 4x10G モードで構成することもできます。

QSFP+ポートは、銅線、マルチモード・ファイバー、シングルモード・ファイバーという幅広い選択肢があり、二重化とパラレル・テクノロジーを使用して、10GbE と 40GbE の両方に対応しています。長さは最大 40km です。

ディープ・バッファと確定性のあるネットワーク・パフォーマンス

Arista 7280E シリーズは、大容量バッファ VOQ アーキテクチャを採用することによって、HOL (head of line) ブロッキングを回避し、輻輳が非常に激しいネットワークにおいてもパケットロスを実質的に回避します。高度なトラフィック・スケジューラが、重み付け均等化キューイング (WFQ)、固定優先度、802.1Qaz ETS などのハイブリッド・スキームといったキュー規則に厳格に従いつつ、すべての仮想出力キュー間で帯域幅を均等分配します。これによって Arista 7280E は、リアルタイム、マルチキャスト、ストレージ・トラフィックの負荷が混在する、非常に厳しいデータセンター要件に容易に対応しながら、低レイテンシーを実現できます。

高可用性

Arista 7280E スイッチは、ソフトウェアおよびハードウェアの両方の観点において、高い可用性とシンプルなプロビジョニングを実現するように設計されています。高可用性に向けた主な機能は以下のとおりです。

- 1+1 冗長のホット・スワップ可能な電源と N+1 冗長のホット・スワップ可能な 4 個のファン
- カラーコード付きの PSU とファン
- ライブ・ソフトウェア・パッチ
- ステートフル・フォールト・リペア (SFR) による自己回復ソフトウェア
- Smart System Upgrade (SSU)
- 10GbE、40GbE を最大 64 ポートサポートするリンク・アグリゲーション・グループ (LAG)
- マルチシャシ LAG によるアクティブ/アクティブ L2 マルチパス
- 128way の ECMP ルーティングによる負荷分散と冗長性



Arista 7280E の背面: 背面吸気/前面排気エアフローのモデル



ホット・スワップと反転が可能な電源モジュールとファン・モジュール

レイヤ 2 機能

- 802.1w Rapid Spanning Tree
- 802.1s Multiple Spanning Tree Protocol
- Rapid Per VLAN Spanning Tree (RPVST+)
- 4096 VLAN
- Q-in-Q
- 802.3ad リンク・アグリゲーション/LACP
 - 64 ポート/チャネル
 - 72 グループ/システム
- MLAG (マルチシャーシ・リンク・アグリゲーション)
 - IEEE 802.3ad LACP を使用
 - MLAG ごとに 128 ポート
- 802.1Q VLAN/トランッキング
- 802.1AB Link Layer Discovery Protocol
- 802.3x フロー制御
- ジャンボ・フレーム (9216 バイト)
- IGMP v1/v2/v3 スヌーピング
- ストーム制御
- プライベート VLAN*
- 802.1 AVB*

レイヤ 3 機能

- スタティック・ルート
- ルーティング・プロトコル: OSPF、OSPFv3、BGP、MP-BGP、IS-IS、RIPv2
- 128way のイコール・コスト・マルチパス・ルーティング (ECMP)
- VRF
- BFD
- IGMP v2/v3
- PIM-SM/PIM-SSM
- Anycast RP (RFC 4610)
- MSDP
- VRRP
- 仮想 ARP (VARP)
- ポリシー・ベース・ルーティング (PBR)
- ルート・マップ

高度なモニタリングとプロビジョニング

- レイテンシー・アナライザ (LANZ) によるマイクロバースト検出*
 - 構成可能な輻輳通知 (CLI、Syslog)
 - イベントのストリーミング (GPB エンコード)
 - 輻輳トラフィックのキャプチャ/ミラーリング*
- ゼロ・タッチ・プロビジョニング (ZTP)
- 高度なミラーリング
 - ポート・ミラーリング (16 セッション)
 - エンハンスト・リモート・ポート・ミラーリング*
 - SPAN/TAP M:N アグリゲーション*
 - L2/3/4 フィルタリング*
- アドバンスド・イベント・マネージャ (AEM)
 - CLI スケジューラ
 - イベント・マネージャ
 - イベント・モニター
 - Linux ツール
- TCPDump による統合パケット・キャプチャ/解析
- USB からの復元と構成
- RFC 3176 sFlow
- 内蔵の SSD によるロギングおよびデータ・キャプチャ
- IEEE 1588 PTP*

仮想化サポート

- VXLAN ゲートウェイ (draft-mahlingam-dutt-dcops-vxlan-01)
- VXLAN トンネル・エンドポイント
- VXLAN ブリッジング
- VM Tracer による VMware との連携
 - VMware vSphere のサポート
 - 仮想マシンの自動検出
 - 仮想マシンのアダプティブ・セグメンテーション
 - 仮想マシンのホスト・ビュー

セキュリティ機能

- L2、L3、L4 フィールドを使用する入力/出力の ACL
- ACL ロギングとカウンタ
- コントロール・プレーン保護 (CPP)
- DHCP リレー
- MAC セキュリティ
- TACACS+
- RADIUS
- ARPトラップとレート制限

QoS 機能

- ポートごとに最大 8 個のキュー
- 厳密な優先キューイング
- 802.1p ベースの分類
- DSCP ベースのクラス分類およびリマーカーキング*
- 出カシェーピング/WRR
- ポリシング/シェーピング
- レート制限*
- Explicit Congestion Notification (ECN)
- 優先度ベース・フロー制御 (PFC)
- 802.1Qaz Enhanced Transmissions Selection (ETS: 拡張伝送選択)*
- データセンター・ブリッジング機能交換 (DCBX)*

ネットワーク管理

- CloudVision: タスク指向のマルチデバイス対応 CLI
- 100/1000 管理ポート
- RS-232 シリアル・コンソール・ポート
- USB ポート
- SNMP v1、v2、v3
- IPv6 経由の管理
- Telnet および SSHv2
- Syslog
- AAA
- 業界標準の CLI
- Beacon LED によるシステム認識

* EOS では現在はサポート対象外

拡張性

- Linux ツール
 - Bash シェル・アクセスとスクリプティング
 - RPM サポート
 - カスタム・カーネル・モジュール
- Software Defined Networking (SDN)
 - Openflow 1.0
 - Openflow 1.3*
 - eAPI
 - OpenStack Neutron のサポート
- システムへのプログラムによるアクセス
 - Python
 - C++
- KVM/QEMU のネイティブ・サポート

スケーラビリティ

- 128,000~256,000 個の MAC アドレス
- 96,000 個の ARP/ND エントリ
- 128,000~256,000 個の IPv4 ホスト・ルート
- 64,000 個の IPv4 ユニキャスト LPM
- 12,000 個の IPv6 ユニキャスト LPM ルート
- 128,000~256,000 個の IPv6 ユニキャスト・ホスト・ルート
- 12,000~256,000 個のマルチキャスト・ルート
- フォワーディング・エンジンあたり 12,000 個の ACL エントリ
- 最大 36,000 個の ACL エントリ
- 仮想出力キューイング
- 分散スケジューラ
- WFQ、CIR*、ETS*、固定優先度

準拠規格

- 802.1D Bridging and Spanning Tree
- 802.1p QOS/COS
- 802.1Q VLAN タギング
- 802.1w Rapid Spanning Tree
- 802.1s Multiple Spanning Tree Protocol
- 802.1AB Link Layer Discovery Protocol
- 802.3ad LACP によるリンク・アグリゲーション
- 802.3x フロー制御
- 802.3ab 1000BASE-T
- 802.3z ギガビット・イーサネット
- 802.3ae 10 ギガビット・イーサネット
- 802.3ba 40 ギガビット・イーサネット
- 802.3ba 100 ギガビット・イーサネット
- RFC 2460 Internet Protocol, Version 6 (IPv6) Specification
- RFC 2461 Neighbor Discovery for IP Version 6 (IPv6)
- RFC 2462 IPv6 Stateless Address Autoconfiguration
- RFC 2463 Internet Control Message Protocol (ICMPv6) for the Internet Protocol Version 6 (IPv6) Specification
- IEEE 1588-2008 Precision Time Protocol

SNMP MIB

- RFC 3635 EtherLike-MIB
- RFC 3418 SNMPv2-MIB
- RFC 2863 IF-MIB
- RFC 2864 IF-INVERTED-STACK-MIB
- RFC 2096 IP-FORWARD-MIB
- RFC 4363 Q-BRIDGE-MIB
- RFC 4188 BRIDGE-MIB
- RFC 2013 UDP-MIB
- RFC 2012 TCP-MIB
- RFC 2011 IP-MIB
- RFC 2790 HOST-RESOURCES-MIB
- RFC 3636 MAU-MIB
- RMON-MIB
- RMON2-MIB
- HC-RMON-MIB
- LLDP-MIB
- LLDP-EXT-DOT1-MIB
- LLDP-EXT-DOT3-MIB
- ENTITY-MIB
- ENTITY-SENSOR-MIB
- ENTITY-STATE-MIB
- ARISTA-ACL-MIB
- ARISTA-QUEUE-MIB
- RFC 4273 BGP4-MIB
- RFC 4750 OSPF-MIB
- ARISTA-CONFIG-MAN-MIB
- ARISTA-REDUNDANCY-MIB
- RFC 2787 VRRPv2MIB
- MSDP-MIB
- PIM-MIB
- IGMP-MIB
- IPMROUTE-STD-MIB
- SNMP Authentication Failure trap
- ENTITY-SENSOR-MIB support for DOM (Digital Optical Monitoring)
- ユーザー構成可能なカスタム OID

MIB の最新のサポート状況については EOS のリリース・ノートを参照

* EOS では現在はサポート対象外

環境的特性

動作温度	0~40° C (32~104° F)
保管温度	-25~70° C (-13~158° F)
相対湿度	5~95%
動作高度	0~10,000 フィート (0~約 3km)

サポートする光接続およびケーブル

インターフェイスの種類	QSFP100 ポート
100GBASE-LR4 *	10km
100GBASE-SR4 *	100m (OM3)/150m (OM4) **
インターフェイスの種類	QSFP+ポート
10GBASE-CR	0.5m~5m QSFP+ to 4x SFP+
40GBASE-CR4	0.5m~5m QSFP+ to QSFP+
AOC-40G-Q-Q	3m~100m
40G-UNIV	150m (OM3)/150m (OM4) 500m (SM)
40GBASE-SR4	100m (OM3)/150m (OM4)
40GBASE-XSR4	300m (OM3)/450m (OM4)
40G-PLRL4	1km (1km 4x10G LR/LRL)
40G-LRL4	1km
40G-PLR4	10km (10km 4x10G LR/LRL)
40GBASE-LR4	10km
インターフェイスの種類	SFP+ポート
10GBASE-CR	SFP+ to SFP+: 0.5m~5m
10G-AOC	SFP+ to SFP+: 3m~30m
10GBASE-SRL	100m
10GBASE-SR	300m
10GBASE-LRL	1km
10GBASE-LR	10km
10GBASE-ER	40km
10GBASE-ZR	80km
10G-DWDM	80km
100Mb Tx、1GbE SX/LX/ZX	あり

モデル比較

	7280SE-64	7280SE-68 *	7280SE-72
ポート	SFP+ 48 個 QSFP+ 4 個	SFP+ 48 個 QSFP100 2 個	SFP+ 48 個 MXP 2 個
最大 100GbE ポート	-	2	2
最大 40GbE ポート	4	2	6
最大 10GbE ポート	64	56	72
スループット	1.28Tbps	1.36Tbps	1.44Tbps
パケット処理性能		900Mpps	
遅延		3.8 μs	
CPU		クアッドコア x86	
システム・メモリ		4GB	
フラッシュ・ストレージ・メモリ		4GB	
パケット・バッファ・メモリ		9GB (ポート・グループあたり 3GB)	
SSD ストレージ		120GB	
100/1000 管理ポート		1	
RS-232 シリアル・ポート		1 (RJ-45)	
USB ポート		1	
ホット・スワップ電源		2 (1+1 冗長)	
ホット・スワップ可能なファン		4 (N+1 冗長)	
反転可能なエアフロー		あり	
サイズ (幅 x 高さ x 奥行)		19x1.75x20.6” (44.5x4.4x52.3cm)	
平均消費電力 / 最大消費電力	263W / 381W	未確定	262W / 399W
重量	22 ポンド (10.0kg)	22.2 ポンド (10.1kg)	22.4 ポンド (10.2kg)

電源仕様

電源モデル	PWR-500AC	PWR-500DC*
入力電圧	100-240AC	40-72V DC
通常入力電流	6.3~2.3A	13.1~7.3A -48V で 11A
入力周波数	50/60Hz	DC
入力コネクタ	IEC 320-C13	AWG #16-12
効率 (通常)	93% プラチナ	-

¹ 通常消費電力は周囲温度 25C の環境で全ポートに対する負荷 50% の状態で測定

* EOS では現在はサポート対象外

** 最終仕様は未提供

準拠規格

EMC	放射: FCC、EN55022、EN61000-3-2、EN61000-3-3 または EN61000-3-11、EN61000-3-12 (該当する場合) イミュニティ: EN55024 放射とイミュニティ: EN300 386		
安全性	UL/CSA 60950-1、EN 60950-1、IEC 60950-1 CB Scheme および各国の個別要求事項		
認証	北米 (NRTL) C-Tick (オーストラリア) EAC (関税同盟)	欧州連合 (EU) CCC (中国) VCCI (日本)	BSMI (台湾) MSIP (韓国)
欧州連合指令	2006/95/EC Low Voltage Directive 2004/108/EC EMC Directive 2011/65/EU RoHS Directive 2012/19/EU WEEE Directive		
NEBS	構成評価 - DC、前面吸気/背面排気エアフロー		

製品番号 製品説明

DCS-7280SE-64-F	Arista 7280E、48 個の SFP+ポートおよび 4 個の 40GbE QSFP+ポート搭載スイッチ、前面吸気/背面排気のエアフロー、AC 電源 2 個
DCS-7280SE-64-R	Arista 7280E、48 個の SFP+ポートおよび 4 個の 40GbE QSFP+ポート搭載スイッチ、背面吸気/前面排気のエアフロー、AC 電源 2 個
DCS-7280SE-64#	Arista 7280E、48 個の SFP+ポートおよび 4 個の 40GbE QSFP+スイッチ、ファンなし、PSU なし (ファンと電源が別途必要)
DCS-7280SE-72-F	Arista 7280E、48 個の SFP+ポートおよび 2 個の 100GbE (マルチモード MXP) ポート搭載スイッチ、前面吸気/背面排気のエアフロー、AC 電源 2 個
DCS-7280SE-72-R	Arista 7280E、48 個の SFP+ポートおよび 2 個の 100GbE (マルチモード MXP) ポート搭載スイッチ、背面吸気/前面排気のエアフロー、AC 電源 2 個
DCS-7280SE-72#	Arista 7280E、48 個の SFP+ポートおよび 2 個の 100GbE (マルチモード MXP) 搭載スイッチ、ファンなし、PSU なし (ファンと電源が別途必要)
DCS-7280SE-68-F	Arista 7280E、48 個の SFP+ポートおよび 2 個の 100GbE (QSFP100) ポート搭載スイッチ、前面吸気/背面排気のエアフロー、AC 電源 2 個
DCS-7280SE-68-R	Arista 7280E、48 個の SFP+ポートおよび 2 個の 100GbE (QSFP100) ポート搭載スイッチ、背面吸気/前面排気のエアフロー、AC 電源 2 個
DCS-7280SE-68#	Arista 7280E、48 個の SFP+ポートおよび 2 個の 100GbE (QSFP100) ポート搭載スイッチ、ファンなし、PSU なし (ファンと電源が別途必要)

オプションのコンポーネント

FAN-7000-F	Arista 7150、7124SX (FX)、7050、7280、および 7048-A スイッチ用のスペア・ファン・モジュール (前面吸気/背面排気エアフロー)
FAN-7000-R	Arista 7150、7124SX (FX)、7050、7280、および 7048-A スイッチ用のスペア・ファン・モジュール (背面吸気/前面排気エアフロー)
PWR-500AC-F	Arista 7050X および 7280 1RU スイッチ用の 500W スペア AC 電源 (前面吸気/背面排気エアフロー)
PWR-500AC-R	Arista 7050X および 7280 1RU スイッチ用の 500W スペア AC 電源 (背面吸気/前面排気エアフロー)
PWR-500DC-F	Arista 7050X および 7280 1RU スイッチ用の 500W スペア DC 電源 (前面吸気/背面排気エアフロー)
PWR-500DC-R	Arista 7050X および 7280 1RU スイッチ用の 500W スペア DC 電源 (背面吸気/前面排気エアフロー)
LIC-FIX-2-E	10G 40~128 ポート搭載 Arista ボックス型スイッチ用の拡張 L3 ライセンス (BGP、OSPF、ISIS、PIM、NAT)
LIC-FIX-2-V	10G 40~128 ポート搭載 Arista ボックス型スイッチ用の仮想化ライセンス (VMTracer と VXLAN)
LIC-FIX-2-Z	10G 40~128 ポート搭載 Arista ボックス型スイッチ用のモニタリング/プロビジョニング・ライセンス (ZTP、LANZ、TapAgg、OpenFlow)
KIT-7002	ツールレス・レールの Arista 1RU および 2RU スイッチ用スペア・アクセサリ・キット (7050QX-32S、7050SX/TX、7280、および 7250X)
KIT-1U-2POST-NT	1RU ツールレス・システム用スペア 1RU 2 ポスト・レール・キット (7050QX-32S、7050SX/TX、7280、および 7250X)
KIT-4POST-NT	4 ポスト構成用スペア 1RU/2RU ツールレス・レール・キット (7050QX-32S、7050SX/TX、7280、および 7250X)

保証

Arista 7280E スイッチは、1 年間の制限付きハードウェア保証の対象で、製品を受領してから 10 営業日以内の部品提供、修理、または交換を保証します。

サービスおよびサポート

翌営業日および 4 時間以内の高度なハードウェア交換を含むサポート・サービスが提供されています。サービス拠点については、以下を参照してください。

<http://www.arista.com/en/service>

本社

5453 Great America Parkway
Santa Clara, California
95054 408-547-5500

サポート窓口

support@arista.com
408-547-5502
866-476-0000

営業窓口

sales@arista.com
408-547-5501
866-497-0000

Copyright © 2014 Arista Networks, Inc. 本書に記載されている情報は予告なく変更される場合があります。
Arista、Arista のロゴ、および EOS は Arista Networks の登録商標です。その他の製品またはサービス名は、他社の
商標またはサービス商標である可能性があります。

www.arista.com
ARISTA